



2018
08
No.706

国民に安定して水産物を供給するために



船員災害防止協会生存対策講習会



県機能基盤強化推進委員会 タブレット視察研修 (JF庵川)



平成30年度漁協販売担当者会議開催

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

宮崎県浮魚礁利用協議会
クロマグロ資源管理に関する
意見交換会

船員災害防止協会生存対策講習会

平成30年7月属人水揚げ表

平成30年7月末現在漁業生産統計

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

県機能基盤強化推進委員会
タブレット視察研修 (JF庵川)

BUSINESS

業務情報

気仙沼事業推進
JFシェルナース推進

平成30年度漁協販売担当者会議開催

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁運情報

近畿県人会で宮崎まぐろをPR

人事異動について

新人挨拶

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

漁業者が実践する藻場
造成活動の効果

—増養殖部—

RELATED ORGANIZATION

関係機関

第2回旋網組合役員会
宮崎県まぐろ部会 第3回役員会
宮崎県まぐろ部会 全体会議

宮崎県漁業士会 平成30年度通常総会

7月の動き (漁連)・7月の動き (県関係)



水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

宮崎県浮魚礁利用協議会

平成30年7月4日（水）に宮崎県水産会館4階第1研修室において、浮魚礁利用協議会－平成29年度第2回委員会－が開催された。

総会は、下記の第1号議案から第4号議案について協議を行い、全議案承認された。
協議内容は以下の通り。

協議事項	
(1)	平成29年度収支決算書について
(2)	一斉更新に係る愛媛県、高知県との協定書について
(3)	各ブイ利用に係る無線周波数について
(4)	役員改選（案）について

クロマグロ資源管理に関する説明会 及び意見交換会

宮崎県漁政対策委員会（会長 宇戸田定信）は、去る7月25日（水）水産会館5階大研修室にて、クロマグロ資源管理に関する説明会及び意見交換会を開催した。

意見交換のなかで出席した漁業者からは、資源管理の必要性については充分理解しているが、第5管理期間での配分枠の拡大、経営安定対策の拡充等を求める、多くの声が寄せられた。

協議内容は下記の通り

協議事項	
(1)	第4管理期間におけるクロマグロ資源管理について（水産庁 神谷部長）
(2)	第4管理期間におけるクロマグロ資源管理の県計画について （県水産政策課 荒武副主幹、松井技師）
(3)	クロマグロ資源管理に関する意見交換会

船員災害防止協会生存対策講習会

平成30年7月13日（金）に宮崎カーフェリー（株）フェリーターミナル前において、生存対策講習会が開催された。内容は次のとおり。

① 座学（宮崎カーフェリー船内）

・「生き抜くために」

講師：船員災害防止協会 安全管理士 團野 貞明

・「退船時の対応」

講師：九州運輸局宮崎運輸支局

首席運輸企画専門官（運航労務監理官） 古賀 崇元

② 実技（岸壁）

・「膨脹式救命筏等の操作について」

講師：船員災害防止協会 技術講師 関根 猛

膨脹式救命筏の種類、取扱い方法や、艀装品の使用方法を説明後、実際に海へ膨脹式救命筏を投下し、宮崎カーフェリーの船員2名が海に飛び込み、デモンストレーションを行った。他にも、落下傘付信号、信号紅炎、海面着色剤を使用した訓練が行われ、非常に貴重で有意義な講習会となった。



平成30年7月属人水揚げ表

区分 漁協名	7月分			7月末累計			昨年同月累計					
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	昨年同月累計			増減		魚価 対比 %
							数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	3,554	200,136	56	28,357	1,841,468	65	30,707	1,978,237	64	-2,351	-136,769	0.8
島浦町	711	123,989	174	6,569	986,842	150	5,540	976,011	176	1,029	10,831	-14.7
延岡	24	26,512	1,103	131	95,577	730	389	140,640	362	-258	-45,063	101.7
延岡市	94	80,403	856	612	279,547	457	680	288,924	425	-68	-9,378	7.4
庵川	94	56,671	600	667	405,079	607	861	461,384	536	-194	-56,305	13.3
門川	22	16,967	757	153	118,979	777	160	93,596	583	-7	25,384	33.2
日向市	214	180,292	844	2,191	1,767,287	807	2,907	1,965,678	676	-715	-198,391	19.3
都農町	16	16,361	1,054	237	211,764	893	300	223,810	747	-62	-12,046	19.5
川南町	94	101,746	1,077	1,384	1,284,600	928	1,865	1,481,228	794	-481	-196,628	16.9
一ツ瀬	7	5,510	795	72	49,418	684	89	59,001	666	-16	-9,583	2.7
檉浜	10	3,386	325	74	24,467	331	76	31,171	409	-2	-6,704	-19.1
宮崎	144	49,415	344	541	232,842	430	593	282,572	477	-52	-49,730	-9.7
宮崎市	52	24,063	462	487	256,139	526	609	354,451	582	-121	-98,312	-9.7
日南市	677	170,080	251	3,692	1,568,645	425	3,565	1,691,639	475	127	-122,994	-10.5
南郷	3,025	663,133	219	11,192	3,699,721	331	10,023	3,680,492	367	1,168	19,230	-10.0
栄松	257	64,155	250	942	327,667	348	760	292,363	385	182	35,304	-9.6
外浦	1,374	296,606	216	4,624	1,345,219	291	4,341	1,347,745	310	283	-2,526	-6.3
串間市東	67	39,661	592	1,110	403,046	363	1,036	398,107	384	74	4,940	-5.5
串間市	601	316,317	526	5,158	2,882,810	559	5,001	2,777,743	555	158	105,067	0.6
合計	11,037	2,435,405	221	68,194	17,781,118	261	69,500	18,524,792	267	-1,306	-743,674	-2.2

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

平成30年8月末現在漁業生産統計

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき網	船びき網	定置	養殖	その他	合計
北浦			31,414 1,794,967	2 990	145 37,999		433 162,556	6 10,973	30 15,790	32,031 2,023,275
島浦町		271 275,333	6,721 387,711	8 12,333			165 56,375	328 331,328	14 28,418	7,506 1,091,499
延岡				6 5,287	11 6,303	125 98,687			35 13,843	176 124,120
延岡市	101 23,586			1 752	61 22,561	50 42,059	411 136,840	2 1,076	70 91,597	696 318,472
庵川	47 22,142	257 242,599	127 23,952	0 282	40 22,542		151 51,281	72 49,062	39 25,963	734 437,822
門川	9 2,539	17 16,329		3 3,772	56 25,193	87 80,861			12 13,340	184 142,034
日向市	242 97,931	1,530 1,559,148		2 666	7 2,964	52 12,006	471 167,121	9 8,055	57 45,957	2,368 1,893,847
都農町		203 195,488		2 1,973					40 22,313	246 219,774
川南町		1,250 1,193,354		68 57,709	10 6,735				121 96,305	1,448 1,354,104
一ツ瀬				8 8,456	10 5,770				61 41,159	79 55,385
憶浜						52 9,724			24 16,104	76 25,827
宮崎		153 126,956				356 87,672			49 32,251	559 246,880
宮崎市		209 149,078	30 2,569	50 30,793	39 22,555	76 12,753	81 39,599		35 16,128	519 273,476
日南市	3,116 941,813	739 639,700		65 45,491			87 44,444		33 36,499	4,039 1,707,947
南郷	10,566 3,352,515	838 369,535		142 94,796			660 206,674		9 10,528	12,215 4,034,048
栄松	960 292,898	42 37,587		20 20,627					2 2,378	1,023 353,489
外浦	4,559 1,361,070	555 103,883		2 1,619			105 59,560		-1 -738	5,219 1,525,393
串間市東		35 41,488		98 58,792			940 279,502		56 39,137	1,129 418,919
串間市				7 6,578	0 198	17 39,766	13 7,869	5,935 3,291,745	14 43,257	5,985 3,389,413
合計数量	19,600	6,098	38,292	481	378	816	3,516	6,352	701	76,234
〃 金額 (魚価)	6,094,494 311	4,950,477 812	2,209,199 58	350,915 729	152,821 404	383,529 470	1,211,821 345	3,692,240 581	590,228 842	19,635,724 258
前年数量	17,967	7,794	41,194	619	465	1,125	3,060	6,088	975	79,287
〃 金額 (魚価)	6,327,527 352	5,645,706 724	2,415,039 59	461,452 745	195,183 420	346,682 308	1,041,344 340	3,490,835 573	635,389 652	20,559,156 259
数量増減	1,633	-1,696	-2,902	-138	-87	-309	456	264	-274	-3,053
〃 対比(%)	9.1	-21.8	-7.0	-22.3	-18.7	-27.5	14.9	4.3	-28.1	-3.9
金額増減	-233,033	-695,229	-205,840	-110,537	-42,361	36,847	170,477	201,404	-45,161	-923,432
〃 対比(%)	-3.7	-12.3	-8.5	-24.0	-21.7	10.6	16.4	5.8	-7.1	-4.5
魚価増減	-41	87	-1	-16	-16	162	4	8	191	-2
〃 対比(%)	-11.7	12.1	-1.6	-2.1	-3.7	52.5	1.3	1.4	29.3	-0.7

端数処理の関係で、下一桁が合わない場合があります。

県機能基盤強化推進委員会 タブレット視察研修（JF 庵川）

県機能基盤強化推進委員会は7月31日にJF 庵川産地市場においてICTを活用したタブレット入札の市場視察を実施した。

①市場視察

使用状況についてJF 庵川担当者より、市場に入荷した魚種やキロ数をタブレットに入力する作業や、入札中のタブレットの使用方法について説明を受けた。

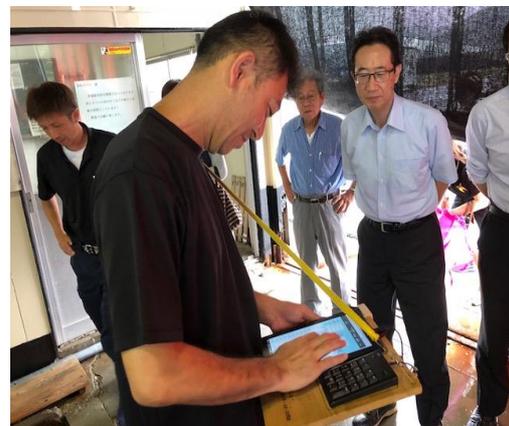
JF 庵川では入札の順番が決まっている鮮魚の入札のみで使用しており、活魚の入札は入札の順番が決まっていないため、タブレットは使用していない。また、入力データーが損傷した際のリスク対応として、経過措置として紙でも入荷品のデーターを記載している。

入札が全て終了した後、漁協事務所に移動し、タブレットに入力された入札データーをパソコンに転送し仕切り書が出来上がるまでの事務処理作業を見学した。

②意見交換会

タブレットメーカーの(株)三友よりタブレットの概要について説明を受けた後、現在使用している4漁協（JF 延岡市・JF 庵川・JF 門川・JF 日向市）より、導入に伴うメリットや改善点について報告を受けた。

参加者した他JF から、各々の市場へのタブレットの導入の可能性について多くの質疑が出され、有意義な研修となった。



タブレットへの事前入力作業中（魚種・キロ数）



タブレットのデータをパソコンへ転送作業中



意見交換会

気仙沼事業推進

平成30年 7月27日～ 8月 4日

今回、4月より北上中である本県カツオ船団の漁労長、全漁連気仙沼駐在、JF 宮城など関係先への挨拶及び、情報収集を行った。その中で、「アニサキス」による魚価安に苦慮されていた。

水揚げ中のカツオ船



港に並ぶかつお船団

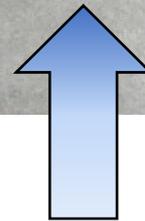


JF シェルナース推進

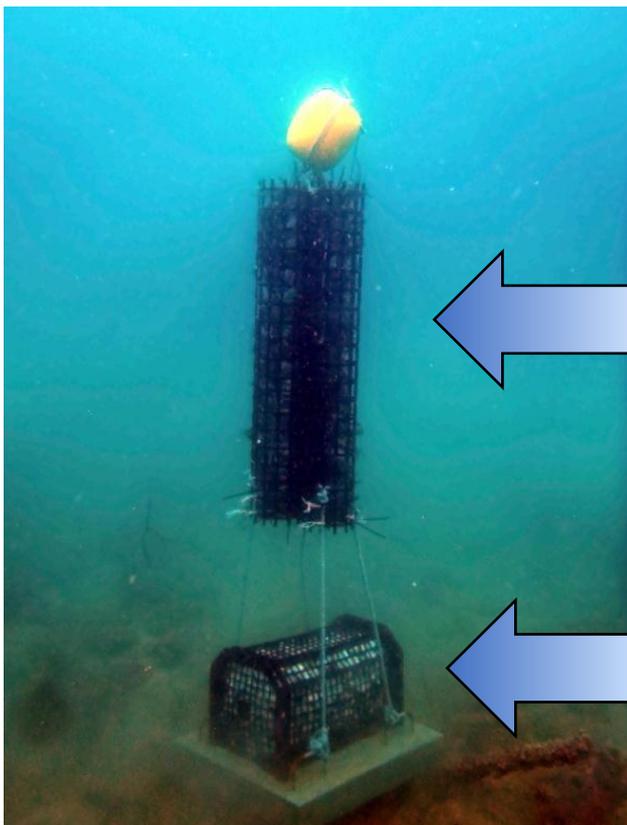
今回は、宮崎県漁連購買事業部で取り扱っている JF シェルナース及び、貝藻くんの推進に 7 月 12 日～13 日の 2 日間で JF 北浦、延岡市役所、JF 庵川、日南市役所、JF 日南市、JF 串間市東、JF 串間市、串間市役所、JF 南郷を訪問した。

また、伊勢エビの稚エビなどが生息できる「イセエビコレクター」の紹介も行った。

各地で設置が検討されている貝藻くんとイセエビコレクター



ホタテの貝殻が入った網目の筒に人工繊維が巻いてある



この中に稚エビが入る



網目の BOX の中身は牡蠣の貝殻でカニ・エビが入る

平成 30 年度漁協販売担当者会議開催

7月27日（金）水産会館において、平成30年度漁協販売担当者会議を開催。関係者35名（漁協販売担当者18名）が出席し、講演と意見交換をおこなった。

1. 水産物消費の現状及びプライドフィッシュの販売・輸出拡大について

JF全漁連 輸出・直販事業部 部長 三浦 秀樹

日本の水産物消費の現状や日本の漁業について説明の後、プライドフィッシュプロジェクトを活用した事例の紹介があり、百貨店でのフェア開催やプライドフィッシュ及び地魚を一般消費者へ周知するため、Fish-1グランプリの開催等が報告された。

また、海外へ向けた国産水産物の消費拡大について海外バイヤーが日本産水産物に期待する事が資料を交えて説明され、例としてJF全漁連のシンガポール事業展開（アンテナショップKANDAWADATSUMI）でのセミナーやフェア開催の実例が紹介された。

会議後に本県でのプライドフィッシュのラベル作成や県外荷受けへのPR等について、意見交換がおこなわれた。

2. 浜プラン 全国優良事例について

JF全漁連 浜再生推進部 部長 高井 紀一

浜の活力再生プランについて、全国で実施されている取組状況説明や他県での優良事例3件（JF小田原・JF山形・JFいしかわ）の報告があった。JFいしかわのトラックによる市場の集荷システムは、本県のアクションプランでも検討されており、導入までの課題やメリット・デメリットなど今後の取組の参考になると思われる。また、本県での第2期目浜プラン策定におけるポイントが資料を交えて説明された。





近畿県人会で宮崎まぐろを PR

このほど、大阪府など関西地域の宮崎県出身者で構成する「近畿宮崎県人会（貫安利会長 会員数 1,400）」の総会・懇親会が会員や関係者の皆様 350 名余りが参加して開かれました。

先日発生した大阪北部地震の影響で、開催が危ぶまれたこともありましたが、会員の皆さんの「是非開催して欲しい」との御意見も多かったことから、予定通り大阪市中心部のヒルトンホテルで開催することになったそうです。

総会では、甲子園高校野球の応援計画や花園ラグビー場での高校ラグビー応援などふるさと宮崎への熱い想いの事業計画や会計予算が審議され、そのあとはお待ちかねの懇親会。

久しぶりに再会した会員さん達だけに、懐かしい故郷の話題などに宮崎弁の花が咲き、大変盛り上がりました。なかでも会員さんの1番の楽しみは「お楽しみ抽選会」。宮崎県議会の蓬原議長は「宮崎県議会議長賞」の賞品に「宮崎県産キハダマグロ」を出品。会場からどよめきが起こる中、「宮崎マグロ」の PR を行っていただきました。さあ、いよいよ抽選です。皆様の熱い視線の中、見事、奈良県北葛城郡上牧町の林田さん（えびの市出身）がラッキーくじを引き当てました。上の写真をご覧ください。喜び一杯の林田さんと蓬原県議会議長の記念撮影です。

林田さんには、南郷漁協から獲れた「キハダマグロ」が宅急便で送られることとなっております。

おめでとうございます。宮崎の美味しいマグロ、どうぞ御堪能してください。

<宮崎のさかなビジネス拡大協議会 津曲睦己>

人事異動について

人事異動一覧表

平成30年7月1日付

氏名	新	旧
甲斐 真里菜	指導部漁政課職員	指導部漁政課試用職員
伊勢 隼登	総務部経理課職員	総務部経理課試用職員

平成30年8月1日付

氏名	新	旧
山本 静香	総務部総務課職員 宮崎県漁業販売株式会社社員兼務	総務部総務課職員



漁業者が実践する藻場造成活動の効果

～モニタリング調査による藻場の動向について～

— 増養殖部 —

はじめに

藻場は、水産動物への餌料供給および生育や繁殖の場になるなど、水産動物にとって非常に重要な機能を担っています。しかし、宮崎県では1990年代後半に大規模な磯焼けが確認され、それ以降、藻場の衰退が続いています（図1）。

磯焼けと藻場の衰退が続いている要因としては、冬から春にかけての水温が上昇傾向にあり、活発化した海藻を食べる魚類やウニ類の採食が過剰になることで、動物と海藻の食べる・増えるのバランスが崩れることによるものと考えられます。

そこで、平成22年頃から藻場の維持・回復を目的として、県内各地（H30現在：5市町・7組織）において、ウニ除去を中心とした、漁業者による藻場造成活動が行われています。しかし、平成21～22年度に県内一斉の藻場調査が行われて以降、藻場の現状や、近年の傾向は不詳な状態でした。

水産試験場では、これら藻場造成の活動を藻場の変遷から評価し、今後も効率的な活動を推進、継続していくために、モデル地区を選定し、経時的かつ詳細な藻場のモニタリング調査を実施しています。

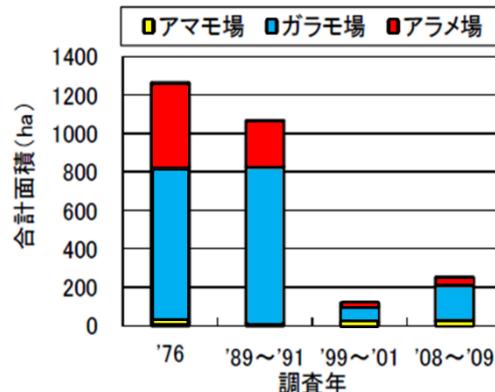


図1 藻場面積の推移



図2 藻場造成活動の様子

モニタリング調査結果～活動継続による藻場の拡大～

○延岡市北浦地区

過去の調査では、クロメ、マメタワラ、アマモ等からなる、2.0haの藻場が確認されていましたが、平成29年度の調査では、構成種に大きな変化はなく、クロメ、マメタワラ、アマモ等からなる12.5haの藻場が確認され、6倍以上の面積の拡大が認められました。

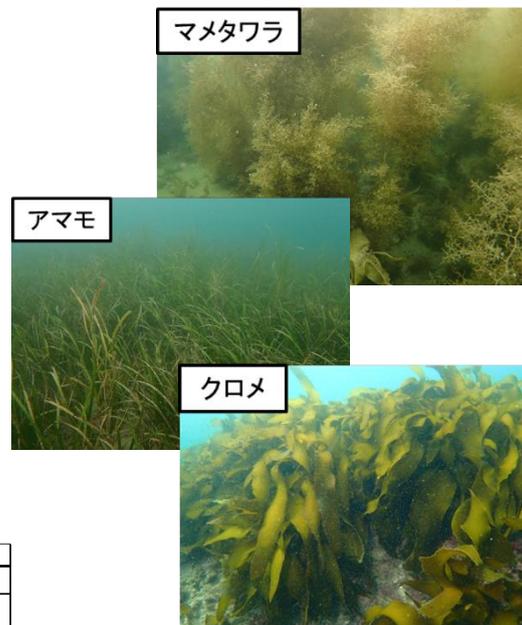


画像©2017 Google 地図データ © 2017 ZENRIN 日本 ※左図楕円内が主な活動範囲

2.0ha→12.5haに拡大

藻場主要構成種比較

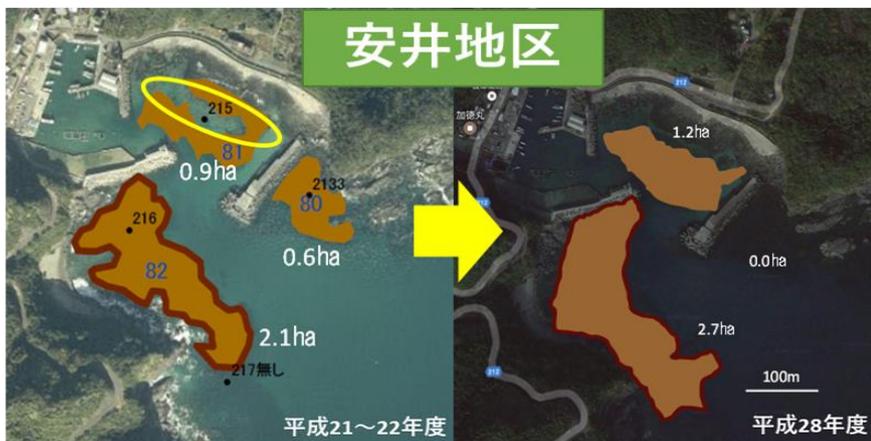
	平成21～22年度	平成28年度	平成29年度
コンブ目	クロメ、ワカメ、ヒロメ	クロメ、ワカメ、アントクメ、ヒロメ	クロメ、ワカメ、アントクメ、ヒロメ
ホンダワラ属	マメタワラ、ヨレモクモドキ、 タマハハキモク	マメタワラ、ヨレモクモドキ、 タマハハキモク	マメタワラ、ヨレモクモドキ、 タマハハキモク
オモダカ目	アマモ、ウミヒルモ	アマモ、ウミヒルモ	アマモ



北浦地区で見られる海藻

○延岡市安井地区

過去の調査では、クロメ、ヨレモクモドキ等からなる、それぞれ 0.6ha、2.1ha、0.9ha の合計 3.6ha の 3つの藻場が確認されていきました。平成 28 年度の調査では、0.6ha の藻場が消失しているが、残り 2つの藻場については、構成種に大きな変化はなく、クロメ、ヨレモクモドキ等からなる、それぞれ 2.7ha、1.2ha の合計 3.9ha の 2つの藻場が確認され、拡大が認められました。

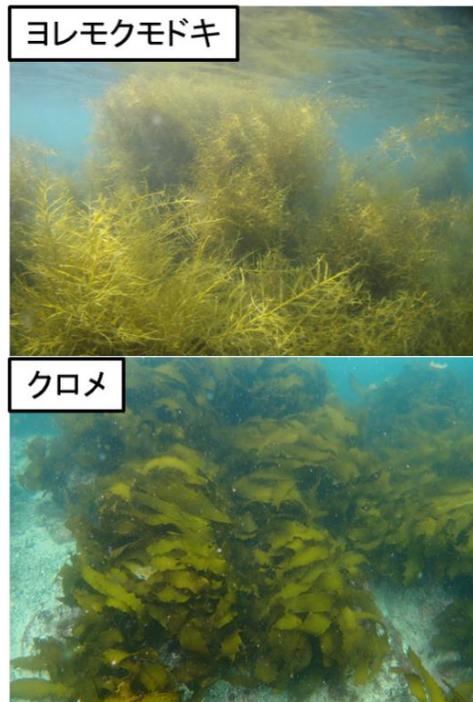


地図データ ©2016 Google, ZENRIN 画像 ©2016, Cnes/Spot Image, DigitalGlobe ※左図楕円内が主な活動範囲

3.6ha→3.9haに拡大

藻場主要構成種比較

	平成21~22年度	平成28年度
コンブ目	クロメ	クロメ
ホンダワラ属	ヨレモクモドキ、トゲモク	ヨレモクモドキ、トゲモク、マメワラ



安井地区で見られる海藻

○串間市崎田地区(一里崎周辺)

過去の調査では、ヨレモクモドキ、ヤツマタモク等、複数のホンダワラ類からなる、それぞれ、0.8ha、4.1ha、2.5ha、4.0ha の合計 11.4ha の藻場が確認されていきました。平成 28 年度の調査では、構成種が過去調査とやや変化しており、複数のホンダワラ類からなる、それぞれ 4.0ha、5.8ha、5.0ha の合計 15.6ha の藻場が確認され、拡大が認められました。特に、一里崎の西側では、約 5 倍の藻場の拡大が認められました。

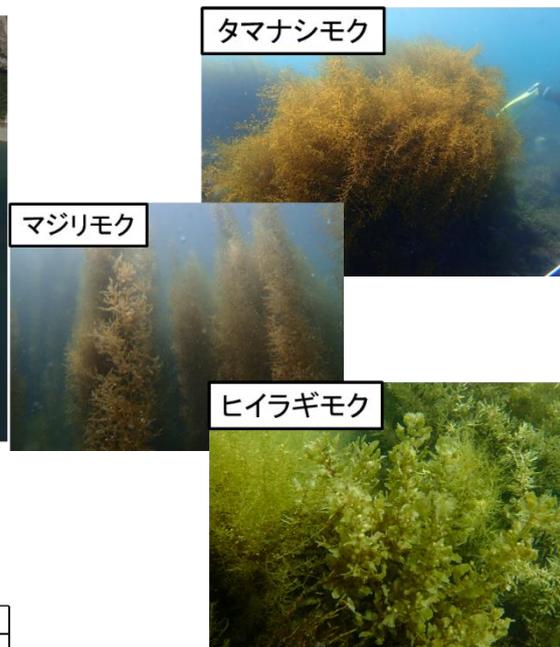


地図データ ©2016 Google, ZENRIN 画像 ©2016, Cnes/Spot Image, DigitalGlobe ※左図楕円内が主な活動範囲

11.4ha→15.6haに拡大

藻場主要構成種比較

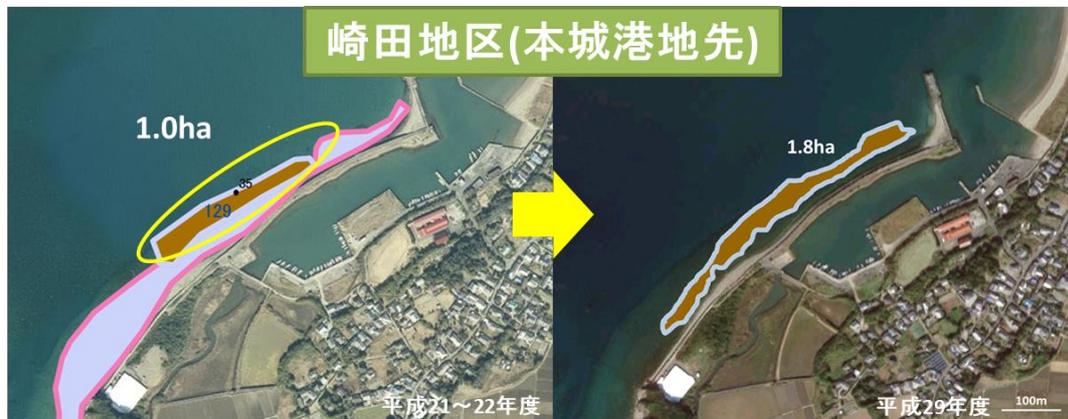
	平成21~22年度	平成28年度
ホンダワラ属	ヨレモクモドキ、ヤツマタモク、ヒラネジモク、シマウラモク、ツクシモク、キレバモク、コナフキモク、コブクロモク、タマナシモク	ヨレモクモドキ、ヤツマタモク、ツクシモク、キレバモク、マジリモク(シマウラモク)、タマナシモク、イソモク、ヒイラギモク



一里崎周辺で見られる海藻

○串間市崎田地区(本城港地先)

過去の調査では、ヨレモクモドキ、小型海藻類等からなる、1.0haの藻場が確認されてきました。平成29年度の調査では、構成種に大きな変化はなく、キレバモク、小型海藻類からなる、1.8haの藻場が確認され、拡大が認められました。

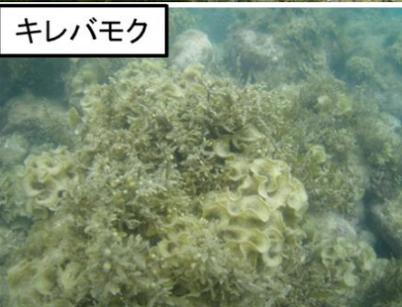
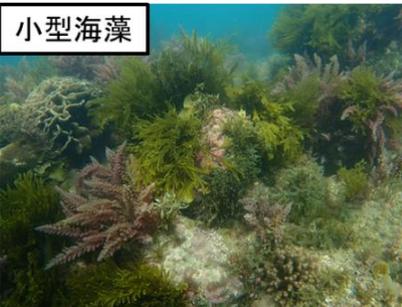


画像©2017 Google 地図データ © 2017 ZENRIN ※左図楕円内が主な活動範囲

1.0ha→1.8haに拡大

藻場主要構成種比較

	平成21～22年度	平成29年度
ホンダワラ属	ヨレモクモドキ,キレバモク	キレバモク
その他	小型海藻類	小型海藻類



本城港地先で見られる海藻

おわりに

モデル地区に選定した上記の3地区においては、平成22年度からウニ除去をメインにした藻場造成活動が始まりました。そして、継続的に磯焼け域のウニの密度を低下させた結果、植食動物と海藻の「食べる VS 増える」のバランスが改善され、各海域に残存していた藻場から孢子等が供給されることによって、藻場面積の拡大につながったと考えられます。この効果を維持し、現存している藻場をさらに回復させていくためには、これからも、藻場造成の取り組みを継続して行っていくことが求められます。

また、これからは、ウニ除去だけでなく、藻場への影響が強いとされながら、未だ効果的な対策が確立されていない、植食性魚類の対策についても検討を進めていく必要があります。

宮崎県旋網組合 第2回役員会

宮崎県旋網組合（会長 西口良満）は、6月30日（土）延岡市中小企業センターにて、第2回役員会を開催した。

★協議事項は下記のとおり

検討内容	
(1)	海洋資源調査について

宮崎県まぐろ部会 第3回役員会

宮崎県まぐろ部会（会長 島田松男）は、7月9日（月）水産会館4階第1研修室にて、第3回役員会を開催した。

★協議内容は下記のとおり

報告事項	
(1)	太平洋くろまぐろ漁獲管理に係る陳情報告について
協議事項	
(1)	平成30年度まぐろ部会全体会議提出議案について
(2)	平成30年度オブザーバー配乗実施計画(案)について

宮崎県まぐろ部会 全体会議

宮崎県まぐろ部会（会長 島田松男）は、7月23日（月）水産会館5階大研修室にて、まぐろ部会全体会議を開催した。

★検討内容は下記のとおり

検討内容	
(1)	太平洋くろまぐろ漁獲管理に係る陳情報告について
(2)	条約オブザーバー配乗について
(3)	海鳥の混獲回避について
(4)	日台漁業協議結果について



宮崎県漁業士会 平成30年度通常総会

平成30年7月30日に水産会館5階大研修室にて、宮崎県漁業士会平成30年度通常総会が開催された。議題は以下の通りで、第1号議案から第3号議案は原案通り承認が得られた。なお、当会については、今回の総会をもって閉会することとなった。

協議事項

- | | |
|-----|--------------------------|
| (1) | 平成29年度漁業士会活動実績及び収支決算について |
| (2) | 漁業士会の閉会について |
| (3) | 平成30年度収支予算(案)について |

7月の動き（漁連）

4日	宮崎県浮魚礁利用協議会
9日	まぐろ部会全体会議
12、13日	JF シェルナース推進
13日	船員災害防止協会生存対策講習会
23日	まぐろ部会全体会議
25日	クロマグロ資源管理に関する意見交換会
27日	漁業販売担当者会議
30日	漁業士会 平成30年度通常総会
31日	県機能基盤強化推進委員会 タブレット視察研修（JF 庵川）
27日～8月4日	気仙沼カツオ船事業推進及び関係者挨拶回り

7月の動き（県関係）

30日	第404回 宮崎海区漁業調整委員会
31日	第3回 海面養殖振興方針策定検討会

